

柿沼 唯(作曲家)

Yui Kakinuma

## A. ヴィヴァルディ(1678-1741)：「四季」Op.8-1~4

ヴェネツィアの身よりのない少女たちの養護施設、ピエタ音楽院で音楽教師を務め、赤毛の司祭とあだ名されたアントニオ・ヴィヴァルディは、作品のほとんどをその少女たちが演奏する目的で作曲した。450曲とも550曲とも言われるそのおびただしい作品のほとんどは、様々な楽器のための協奏曲で占められている。これらは当時のヨーロッパで一世を風靡し、そのスタイルは「ヴィヴァルディ・タイプ」の名で、多くの聴衆のみならず、作曲家にも多大な影響を与えた。中でも、バッハがヴィヴァルディの作品を熱心に研究し、その協奏曲をチェンバロやオルガン用に編曲したことは広く知られている。

今日最もポピュラーなく四季>は、1725年に出版された彼の5番目の協奏曲集「和声と創意への試み」の第1曲から第4曲に収められた4曲のヴァイオリン協奏曲で構成される。いわゆる“標題音楽”の代表例として広く知られる作品であり、各曲には、「春」「夏」「秋」「冬」の標題とともに、四季の自然と人々の営みを歌った作者不詳のソネットが添えられ、音楽はその詩の情景にあわせて進められる。

### 「春」(第1番 長調)

第1楽章：アレグロ 「春がやってきた。小鳥たちは嬉しそうに歌い、小川はそよ風にやさしく囁きながら流れる。やがて空が暗くなり、嵐がおそうが、それが静まると小鳥たちは再び嬉しそうに歌い出す」

第2楽章：ラルゴ 「花ざかりの牧場では木々の葉がざわめき、羊飼いは番犬を側に眠っている」

第3楽章：<田園舞曲>アレグロ 「ニンフと羊飼いはミュゼット(牧笛)の陽気な調べに合わせて踊る」

### 「夏」(第2番 短調)

第1楽章：アレグロ・ノン・モルト 「太陽が灼けつくきびしい季節になると、人や動物は元気をなくし、松の木さえも暑い。カッコウが鳴き始め、山鳩やひわも歌い出す。突然の北風。羊飼いは嘆いている」

第2楽章：アダージョ 「はげしい稲妻や雷鳴におびやかされて、羊飼いは疲れた体を休めることもできない」

第3楽章：プレスト 「稲妻、雷鳴、そして霰まで降ってきて、熟した果実をみんな地面に叩き落とした」

### 「秋」(第3番 長調)

第1楽章：アレグロ 「村人たちは歌や踊りで豊作を祝い、酒を飲み、眠りこむまで楽しむ」

第2楽章：アダージョ 「皆が歌や踊りをやめたあとには、秋の穏やかな空気が、すべての者を甘い眠りへと誘う」

第3楽章：アレグロ 「夜明けになると狩人たちは銃銃と角笛を持ち、犬を連れて狩に出かける。鉄砲と犬の吠え声が獣を追いつめる」

### 「冬」(第4番 短調)

第1楽章：アレグロ・ノン・モルト 「冷たい雪の中の凍てつく寒さ、吹きささぶ寒風に、足踏みしながら寒さに歯の根が合わない」

第1楽章：ラルゴ 「炉端では静かに満ち足りているが、戸外は冷たい雨が降っている」

第1楽章：アレグロ 「氷の上を注意深く歩いて行く。乱暴に歩いて転ぶと、今度は急いで立ち上がり走り出す。南風、北風、あらゆる風が戦っているのを聞く。これが冬なのだ。しかし冬は喜びをもたらす」

## F.シューベルト(1797-1828)：アヴェ・マリア

バッハ=グノーの「アヴェ・マリア」と並ぶ人気曲。イギリスの詩人W. スコットの「湖上の美人」という詩集の中の一編に作曲されたもので、堅琴の音を模した伴奏にのって、敬虔な乙女の祈りが、静けさの中に内なる情熱をこめて歌われる。「アヴェ・マリア! 優しき聖処女よ、乙女の願いを聞き入れて下さい。けわしくそそり立つこの岩から、私の祈りをあなたの許へと漂わせましょう」

## C.サン=サーンス(1835-1921)：ノツテ・ステラータ(白鳥)

イタリア人若手オペラ歌手3人のグループ「イル・ヴォーロ」が、サン=サーンスのチェロ名曲「白鳥」のメロディにイタリア語の歌詞をつけて歌い、世界的なヒットとなった。ノツテ・ステラータとは「星降る夜」の意味。「月の映る湖を見てごらん、空の星は僕達のために輝いている。この魔法のような夜に、僕のセレナーデを君のために歌おう」

## F.リスト(1811-1886)：愛の夢 第3番

リストのピアノ曲中もっともポピュラーな一曲として親しまれている。もともと歌曲として作曲されたものだが、リストはこれを<愛の夢 - 3つのノクターン>としてピアノ用に編曲し、広く愛好されるようになった。分散和音が醸し出すロマンティックな曲想は、ノクターンの名にふさわしい。

## G.プッチーニ(1858-1924)：歌劇「トゥーランドット」より“誰も寝てはならぬ”

伝説時代の中国、冷酷非情な絶世の美女トゥーランドット姫の謎を見事に解いたダッタン国の王子カラフは、窮地に立たされた姫に、「夜明けまでに自分の名前を突き止められれば、自分の命を与えよう」と提案する。第3幕冒頭、都中に「寝ずに素性を調査せよ」との役人の布告の声が響く中、カラフが歌うのがこの名アリアだ。高鳴る胸を抑えて歌い出され、最後は勝利への確信を高らかに宣言する。

## ニーノ・ロータ(1911-1979)：ロミオとジュリエット

1960年代の映画史に残る名作「ロミオとジュリエット」のテーマ曲。「ゴッドファーザー」「太陽がいっぱい」「道」など多くの名作で映画音楽史に足跡を残したイタリアの作曲家ニーノ・ロータのセンチメンタルな魅力が、存分に発揮された一曲だ。

## V.モンテ(1868-1922)：チャルダッシュ

ヴィットリオ・モンテはイタリアのヴァイオリニスト・作曲家で、オペレッタやバレエなども作曲したが、今日ではこの<チャルダッシュ>一曲によって知られている。チャルダッシュとは、緩やかで哀愁に満ちた導入部と、シンコペーションの独特のリズムによる急速な主部よりなるハンガリー・ジプシーの舞曲。もともとマンドリンのために書かれたこの曲は、今日では様々な編曲で演奏されるが、特にヴァイオリニストのレパートリーとして、ジプシー・ヴァイオリンの早弾きの妙技を堪能させてくれる人気曲となっている。